

地域情報化アドバイザー制度活用報告書（1日目）

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	あいちAI・ロボティクス連携共同研究会		代表者名	清田 佳治
担当者部署	総務局総務部		連絡先電話番号	052-954-6968
担当者役職	主事	担当者氏名	天野 洋	連絡先E-mail
住所	460-8501 愛知県名古屋市中区三の丸3-1-2			

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名	愛知県	連絡先部署	総務局総務部	
担当者氏名	加藤 諒	連絡先電話番号	052-954-6968	連絡先E-mail

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	三輪 修平
評価	大変よい
上記評価の理由（どのよう なところがよ かったか等詳 細に）	RPA等の促進を自治体職員として進められてきた経験をお持ちで実態に即した内容の御講演が非常に参考になりました。講演内容は愛知県の市町村から挙がった悩みに即したものにわざわざ再構成していただき、さらに質疑応答も質問の意図をかみ砕いて再解説していただきながら非常に聞きやすいものでした。
アドバイザーへの要望事項	特になし。今後ともどうぞよろしくをお願いします。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）	活動時間（分）
3-1. 活動	2022年2月25日	13時00分	15時00分		120
	派遣形態	講演（オンライン）			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

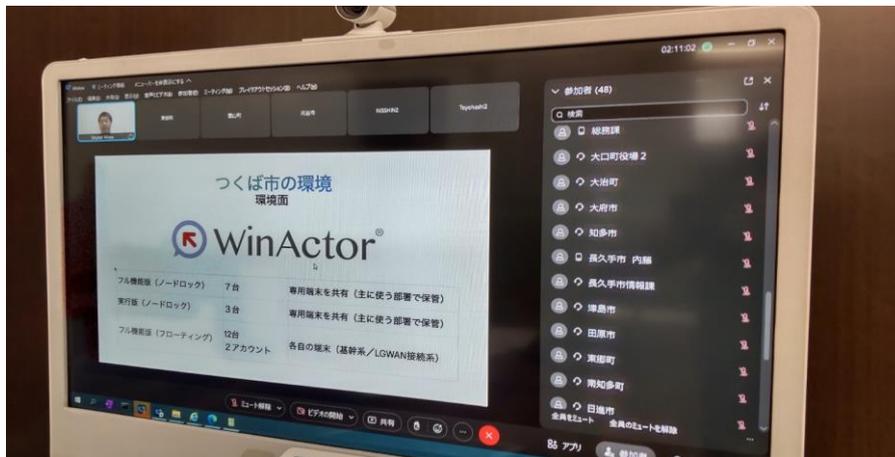
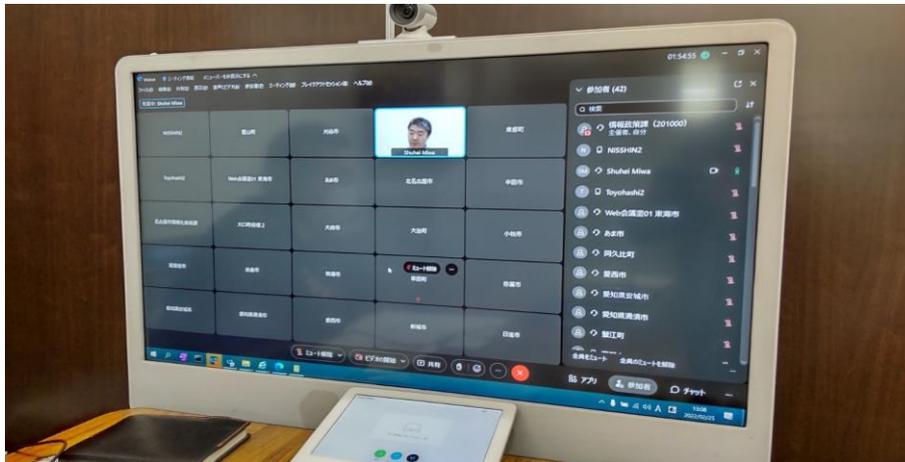
掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	職員	100人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 （具体的にご記入下さい）	RPAの内製化に向けた人材育成や利用拡大について	
支援により目指す成果 （具体的にご記入下さい）	RPAの普及による行政事務の効率化	
アドバイザーに支援を受けた内容 （具体的にご記入下さい）	御講演によるRPAの内製化に向けた人材育成や利用拡大についての実際の取組み事例や勤所の御教示	
支援を受け改善又は解決された内容 （具体的にご記入下さい）	RPAの内製化に向けた人材育成や利用拡大についての知見習得	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 （具体的にご記入ください）	特になし。	

アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。	
	6. の末尾にアンケート結果を添付	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものリストより選択下さい	③现阶段では課題・問題が残っているため未定
事業の最終的な目指す姿	RPAの普及による行政事務の効率化	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子



<アンケート結果>

講演の理解度	回答数	割合
とても理解できた	29	85%
少し理解できた	5	15%
あまり理解できなかった	0	0%
理解できなかった	0	0%

今後の業務への有効性	回答数	割合
とても役に立つ	20	59%
役に立つ	14	41%
あまり役に立たない	0	0%
役に立たない	0	0%